

1. 件名「原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談」

2. 日時：令和2年1月20日（月）10時00分～11時20分

3. 場所：原子力規制庁9階南会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

戸ヶ崎安全規制調整官、前田安全規制調整官、菅原企画調査官、来住管理官補佐、
川末安全審査官、島村安全審査官、石井係長

文部科学省

研究開発局原子力課

乾係員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 技術主席 他5名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、
廃棄物の合理的処理処分方策の基本的考え方（以下、「基本的考え方」という。） - 廃棄物
処理の加速に向けた検討結果 - の提出及び説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について、確認を行った。また、基本的考え方の内容
に関して、次回原子力機構バックエンド対策監視チーム会合の場でコメントする旨伝え
た。

- ・ P. 9の円グラフにある未分別としている中に鉛等を含む可能性について
- ・ P. 13のフロー中にある溶融を行う廃棄物の範囲等について
- ・ P. 40のスケジュールについて令和10年を境に前後に分けたことについて

(3) 原子力機構から、原科研FCAへの核燃料物質集約化の検討について説明があった。

(4) 原子力規制庁から、昨年3月28日の東海再処理施設等安全監視チーム会合で説明のあつ
た「原子力科学研究所及び大洗研究所における核燃料物質の集約化検討の方向性につい
て」をフォローアップできるようにFCA以外の他施設の検討状況も含めた内容にできな
いか検討を依頼した。

(5) 原子力機構から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

- ・ 廃棄物の合理的処理処分方策の基本的考え方 - 廃棄物処理の加速に向けた検討結果 -
- ・ 廃棄物の合理的処理処分方策の基本的考え方 - 廃棄物処理の加速に向けた検討結果 -
（参考資料）
- ・ 原科研FCAへの核燃料物質集約化の検討について